

ニュースレター

発行者
キリスト教礼拝音楽学会
〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-48-12-501
TEL/FAX 03-3721-0891
発行日 / 2013年4月1日

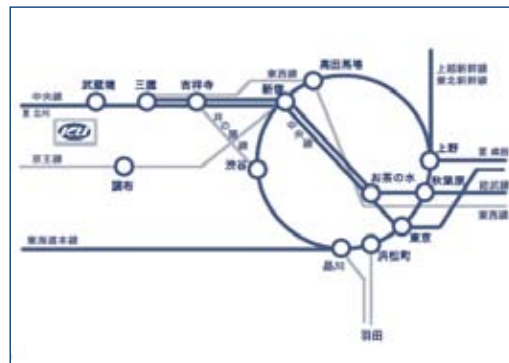
キリスト教礼拝音楽学会 第13回大会 案内

★テーマ：礼拝におけるオルガンと合唱の実践

★日時：2013年5月25日(土) 10:00-16:30

★会場：国際基督教大学

午前：本館402教室
午後：宗教音楽センター
〒181-8585 三鷹市大沢3-10-2
連絡先携帯 090-4223-0805 (手代木)



★主催：キリスト教礼拝音楽学会

★会費：会 員 ¥3,000 / 非会員 ¥4,000

*昼食はキャンパス内の食堂をご案内いたしますが、昼食代は各自ご負担をお願いいたします。

●プログラム

9:30 -	受付	総合司会	伊東辰彦
10:00 - 10:05	挨拶	会長	金澤正剛
10:05 -	研究発表	ドイツにおける一教会音楽教育一	
		①ドイツの教科書の実体	佐々木悠
		②合唱指導の実際	安積道也
	休憩		
	質疑応答		
12:00 - 13:30	昼食会、自由行動		
13:30 - 14:00	総会		
14:00 -	シンポジウム		
	「教会とオルガン会社との契約・交渉」		赤井 励
	「オルガンと音響」		永田 穂氏(音響設計士)
	「合唱とオルガン 聖公会の場合」		長畑俊道氏(立教小学校教諭)
16:30	会長閉会挨拶		金澤正剛

参加申込：5月8日(水)締切・厳守

大会案内の申込書に記入し、下記宛、郵送にて、お申し込みください。

多くの方のご参加をお待ちいたしております。

参加費は郵便振替口座(キリスト教礼拝音楽学会02240-3-46335)に大会費と明記し、お振込みください。

申込先：〒145-0071 東京都大田区田園調布2-48-12-501 手代木方 キリスト教礼拝音楽学会大会係
Tel: 03-3721-0891 (手代木) E-mail: gammo@ka2.so-net.ne.jp

「2013年度国際基督教大学で開催される 第13回大会へ招き」

伊東 辰彦

この度、本学会発足以来、初めて国際基督教大学を会場として大会が催されることになり、大変光栄に存じます。当学は東京郊外の三鷹市に立地していることもあり、比較的自然が残された敷地に、今大会発表の場所となる大学本館を中心として、礼拝堂を始めとする諸施設が配置されています。(地図など詳しくは、大学HPをご覧ください。http://www.icu.ac.jp/access.html) 5月の緑深いキャンパスに、学会員の方々をお迎え出来ることを大変嬉しく思っております。どうぞ皆様奮ってご参加下さい。

本学会の会員のなかにはご存知の方も多いかと思いますが、国際基督教大学(以後、ICUと略記)は、第2次世界大戦直後の1945年から、悲惨な戦争の災禍への深い反省を込めて、日米のキリスト者、教育関係者が中心となって設立の計画が立てられました。その後、いくつかの準備段階を経て、1953年3月に当時の文部省によって設置が認められ、4月1日に教養学部一学部の大学として献学されて、現在に至っています。従って、今年2013年は、その60周年記念の年にあたります。

献学理念の中心は、キリスト教精神に基づくリベラル・アーツ教育の実践であり、それまでの日本にはなかった4年制教養学部の大学として、教養ある市民の育成、日英バイリンガル教育の徹底、民主的思想に基づく批判的知性の陶冶を目標として来ました。その当然の結果として、リベラル・アーツの一つとしての音楽は、ICUの教育のなかで重要な意味をもっており、音楽大学ではないところで音楽を学ぶことの意義を追求してきたとも言えます。

そうした歴史を背景として、キリスト教音楽の実践と研究には学内の理解もあり、1970年10月には、大学礼拝堂に36ストップ、3段手鍵盤とペダル鍵盤からなる、日本で初めての本格的なパイプオルガンが設置されました。また、1977年からは、それまでのオルガン委員会の業務を継承、発展するかたちで、宗教音楽センターが発足し、現在に至っており、本学会会長の金澤先生が1982年から2004年まで長く所長を務められ、その後は小生が引き継いでいます。学内には、礼拝堂の大オルガン(通称リーガーオルガン)の他に、今大会の会場にもなる本館4階の宗教音楽センターには、2段手鍵盤とペダルの練習用オルガンが2台(通称森オルガンとノアックオルガン)、また、シーベリー礼拝堂には、さらに小さな1段手鍵盤のオルガンがあります。ICUのような小規模な一般大学でキャンパス内に4台のパイプオルガンがある所は、日本では他にないのではないかと思います。(今回、これらの楽器の見学もして頂けます。)

宗教音楽センターでは、春学期(4-6月)、秋学期(10-11月)に定期オルガン連続演奏会を年に5回、9月にはオルガン試奏会(成人向け)、12月にはクリスマス演奏会、3月には「Organ for Kids」(子供向け)を主催しており、また、年に2回(春と秋)、連続公開講演会を催しています。こうした企画には、演奏者として、講演者として、また聴衆として、学内外から多くの方々が来学しています。先日他界したマリ＝クレール・アラン女史も、1973年1月にICUが開催した第1回「オルガン・アカデミー」のために初来日されたことをご記憶の方もあるでしょう。

1986年度から開始された、学生のための「オルガン講座」では、毎年平均20名弱の在生学生を中心に、植田義子先生(2006年度退任)、岩崎真実子先生(1991年度着任)、菅哲也先生(2007年度着任)の指導の下、文字通り、日々練習に励んでおり、冬学期の大学礼拝では、上級生がオルガン演奏を担当する等、大学行事への貢献も大きいと思います。講座の卒業生の多くは必ずしもプロの演奏家になる訳ではありませんが、厳しいオルガンの練習を諦めずに続けることを通して忍耐と教養を身につけ、一人の人間として成長して行くその姿は感動的でもあります。

また、センターには堀栄蔵氏製作による1段鍵盤のイタリア様式のチェンバロが1台あり、「古楽研究会」と言う学生の演奏団体が、学内での練習と本番で頻繁に使っています。こちらは残念ながら担当の講師はおりませんが、堀氏の弟子の一人で、卒業生でもある佐藤裕一氏が定期的に保守と点検、及び使用する学生への講習に来てくれています。毎年春学期には、歌手の波多野睦美先生が「音楽演奏研究」というコースを担当してくれていて、歌の実技に加えて、伴奏用にチェンバロの出番もあります。

以上、ICUの歴史と、音楽活動の有様について、ごく簡単にご説明しましたが、学生数3000人に満たない、歴史も60年余りしかない、小さな大学(少人数教育を実施していることの結果ですが)としては、豊かな音楽活動を維持して来ているのではないかと思います。特にリベラル・アーツ教育との関連において、音楽のもつ意義が高く評価されていることは、キリスト教音楽に留まることなく、世界の宗教と音楽との関係を論じる上でも、重要な貢献をしていると思っています。実際、ICUの音楽の教員には、西洋音楽を担当

する私の他に、沖縄や八重山諸島の音楽を中心に、西洋以外の音楽を担当する教員(マット・ギラン先生)がいて、学生たちの関心を集めています。

東京の都心から少し離れているのと、キャンパスが広いと、発表会場に辿り着くまでに多少時間がかかるかもしれませんが(国際基督教大学内のバス停から大学本館4階まで、歩いてさらに5分から10分くらいかかります)、来て頂ければ、必ずや環境の良さをご理解頂けると思います。会場にて皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。

(本学会理事、国際基督教大学教授(音楽学)、教養学部長)



森オルガン 宗教音楽センター ICU本館4階

★役員会報告

- ①日 時：2012年11月13日(火) 15:30-17:00
場 所：上智大学 SJハウス
出席者：新垣、伊東、金澤、佐々木、塩谷、ヘンゼラー、手代木
議 題：学会誌、ニュースレター、第13回大会について
- ②日 時：2013年1月27日(日) 14:00-16:00
場 所：明治学院インブリー館会議室
出席者：赤井、伊東、金澤、佐々木、手代木
議 題：大会の企画について…会場、プログラム
ニュースレター、大会案内、学会誌
- ③日 時：2013年3月16日(土) 12:00-13:30
場 所：立教大学セントポール会館
出席者：伊東、金澤、佐々木、塩谷、手代木、ヘンゼラー
議 題：大会の詳細な企画について…
会場、プログラム
ニュースレター、大会案内、学会誌

★学会誌発行予定

第12号 学会誌……4月半ば刊行予定

- 内容・巻頭言……赤井 励
・論文……手代木俊一
鈴木治
・研究ノート…新垣壬敏
・新刊紹介……金澤正剛、藤 愛
・第12回大会プログラム・報告…伊東辰彦

★会員出版物の案内

『大作曲家が語る音楽の創造と靈感』
アーサー・M・エーブル著、吉田幸弘訳(出版館ブック・クラブ) 2013年2月

★募 集

*編集委員会より会員の最新刊行物を掲載し、皆様にご紹介したいと思います。編集委員(手代木、佐々木宛)までお知らせください。

★会費納入のお願い

会の運営に対して、いつも支援をいただき感謝申し上げます。2012年度会費、また、2011年度の会費をまだ納入されていない方は、ぜひ下記の口座にお振込ください。よろしくお願いいたします。会費を完納された方には『日本讃美歌・聖歌 研究書誌』をお送りしております。

2013年度は役員選挙です。2012年度まで会費を完納された方は、選挙権・被選挙権があります。

キリスト教礼拝音楽学会

郵便振替口座 02240-3-46335

入会金：3,000円(入会時のみ)
年会費：正 会 員 6,000円
準 会 員 3,000円
賛助会員 20,000円

- 振込用紙には* ___年度/正・準・賛助会員/会費_____を必ず明記の上、ご送金ください。
- 住所変更等も、お知らせください。
- 会費納入についてご不明なことがございましたら、下記にご連絡をお願い申し上げます。

会計担当 佐々木しのぶ

〒980-0023 仙台市青葉区北目町6-6-1401

TEL/FAX 022-262-6565

Email:sshinobuorg@ybb.ne.jp

